

豚 肉 情 勢

10月10日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																																																											
供給	1.国産	○ 8月の全国豚と畜頭数は、1,178千頭と前年を下回った。(前年比96.4%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比) ;北海道100.9%、東北98.5%、関東93.6%、北陸甲信越94.7%、東海96.2%、近畿92.2%、中四国91.8%、九州・沖縄97.5% ○ 9月の全国と畜頭数は、1,285千頭(速報値9月30日まで集計、前年比100.6%)と前年を上回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は64,260頭(前年実績:67,242頭/日、前年差▲2,982頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;9月24日付け)によると、10月 ;1,477千頭(前年比101%)、11月 ;1,321千頭(同94%)、12月 ;1,428千頭(同98%)、2026年1月:1,347千頭(同96%)、2月:1,266千頭(同98%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約97%と前年を下回る見込み。	国内生産量の推移 (千頭:%)		農水省出荷予測 (千頭:%)																																																									
	2.輸入	○ 8月の輸入通関実績は、豚肉全体で74.1千ﾄﾝ(前年比88.0%、前月比89.5%)と前年を下回った。 内訳は、チルドが30.4千ﾄﾝ(前年比104.5%、前月比88.8%)、フローズンは43.7千ﾄﾝ(同79.3%、同90.0%)となった。 輸入相手国別では、チルドはカナダ、メキシコが増加した。フローズンはカナダが増加した。 (参考)形態別相手国別輸入数量 チルド ;カナダ16.8千ﾄﾝ(前年比108.8%)、米国10.4千ﾄﾝ(同92.2%)、メキシコ3.2千ﾄﾝ(同135.6%) フローズン ;スペイン14.7千ﾄﾝ(前年比96.5%)、ブラジル8.2千ﾄﾝ(同88.0%)、米国5.3千ﾄﾝ(同72.6%)、カナダ4.0千ﾄﾝ(同114.1%)、メキシコ4.0千ﾄﾝ(同70.2%) ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(9月25日公表)によると、9月の輸入量:75.4千ﾄﾝ(前年比95.8%)、10月の輸入量:75.8千ﾄﾝ(同87.4%)と見込まれる。 チルドは、現地相場高の影響等により米国産の減少が見込まれること等から、9月、10月ともに前年同月を下回ると予測する。 フローズンは、国内の輸入品在庫が多いことや、前年の輸入量が多かったこと等から、9月、10月ともに前年同月を下回ると予測する。 3か月平均では、チルド、フローズンともに前年同月を下回ると見込んでいる。 令和7年9月:合計75.4千ﾄﾝ(前年比95.8%)、チルド29.1千ﾄﾝ(同96.1%)、フローズン46.3千ﾄﾝ(同95.7%) 令和7年10月:合計75.8千ﾄﾝ(前年比87.4%)、チルド30.2千ﾄﾝ(同88.4%)、フローズン45.6千ﾄﾝ(同86.8%) 直近3か月(8月～10月)平均:合計75.2千ﾄﾝ(前年比90.5%)、チルド29.8千ﾄﾝ(同95.6%)、フローズン45.4千ﾄﾝ(同87.4%)	<table><tr><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">国内と畜頭数</th><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">出荷予測</th></tr><tr><th>千頭</th><th>前年比</th><th>頭数</th><th>前年比</th></tr><tr><td>R3年</td><td>16,836</td><td>100.9</td><td>R7年 10月</td><td>1,477</td><td>101</td></tr><tr><td>R4年</td><td>16,577</td><td>98.5</td><td>R7年 11月</td><td>1,321</td><td>94</td></tr><tr><td>R5年</td><td>16,407</td><td>99.0</td><td>R7年 12月</td><td>1,428</td><td>98</td></tr><tr><td>R6年</td><td>16,266</td><td>99.2</td><td>R8年 1月</td><td>1,347</td><td>96</td></tr><tr><td>R7年 5月</td><td>1,297</td><td>95.4</td><td>R8年 2月</td><td>1,266</td><td>98</td></tr><tr><td>R7年 6月</td><td>1,231</td><td>103.2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R7年 7月</td><td>1,281</td><td>97.7</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R7年 8月</td><td>1,178</td><td>96.4</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		暦年	国内と畜頭数		暦年	出荷予測		千頭	前年比	頭数	前年比	R3年	16,836	100.9	R7年 10月	1,477	101	R4年	16,577	98.5	R7年 11月	1,321	94	R5年	16,407	99.0	R7年 12月	1,428	98	R6年	16,266	99.2	R8年 1月	1,347	96	R7年 5月	1,297	95.4	R8年 2月	1,266	98	R7年 6月	1,231	103.2				R7年 7月	1,281	97.7				R7年 8月	1,178	96.4			
	暦年	国内と畜頭数		暦年		出荷予測																																																								
千頭		前年比	頭数		前年比																																																									
R3年	16,836	100.9	R7年 10月	1,477	101																																																									
R4年	16,577	98.5	R7年 11月	1,321	94																																																									
R5年	16,407	99.0	R7年 12月	1,428	98																																																									
R6年	16,266	99.2	R8年 1月	1,347	96																																																									
R7年 5月	1,297	95.4	R8年 2月	1,266	98																																																									
R7年 6月	1,231	103.2																																																												
R7年 7月	1,281	97.7																																																												
R7年 8月	1,178	96.4																																																												
			輸入量の推移 (ﾄﾝ・%)		財務省 :通関実績																																																									
			<table><tr><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">輸入数量</th><th colspan="2">チルド数量</th></tr><tr><th>ﾄﾝ</th><th>前年比</th><th>ﾄﾝ</th><th>前年比</th></tr><tr><td>R3年</td><td>903,455</td><td>101.3</td><td>420,361</td><td>101.0</td></tr><tr><td>R4年</td><td>977,158</td><td>108.3</td><td>403,854</td><td>96.3</td></tr><tr><td>R5年</td><td>919,713</td><td>94.2</td><td>393,416</td><td>99.1</td></tr><tr><td>R6年</td><td>976,482</td><td>107.2</td><td>384,908</td><td>98.4</td></tr><tr><td>R7年 5月</td><td>90,535</td><td>96.2</td><td>34,523</td><td>102.9</td></tr><tr><td>R7年 6月</td><td>83,787</td><td>102.5</td><td>32,038</td><td>106.0</td></tr><tr><td>R7年 7月</td><td>82,783</td><td>96.0</td><td>34,194</td><td>122.8</td></tr><tr><td>R7年 8月</td><td>74,070</td><td>88.0</td><td>30,359</td><td>104.5</td></tr></table>		暦年	輸入数量		チルド数量		ﾄﾝ	前年比	ﾄﾝ	前年比	R3年	903,455	101.3	420,361	101.0	R4年	977,158	108.3	403,854	96.3	R5年	919,713	94.2	393,416	99.1	R6年	976,482	107.2	384,908	98.4	R7年 5月	90,535	96.2	34,523	102.9	R7年 6月	83,787	102.5	32,038	106.0	R7年 7月	82,783	96.0	34,194	122.8	R7年 8月	74,070	88.0	30,359	104.5									
暦年	輸入数量		チルド数量																																																											
	ﾄﾝ	前年比	ﾄﾝ	前年比																																																										
R3年	903,455	101.3	420,361	101.0																																																										
R4年	977,158	108.3	403,854	96.3																																																										
R5年	919,713	94.2	393,416	99.1																																																										
R6年	976,482	107.2	384,908	98.4																																																										
R7年 5月	90,535	96.2	34,523	102.9																																																										
R7年 6月	83,787	102.5	32,038	106.0																																																										
R7年 7月	82,783	96.0	34,194	122.8																																																										
R7年 8月	74,070	88.0	30,359	104.5																																																										
需要	1.家計消費	○ 総務省発表の8月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,801g(前年比105.5%)、支出金額が2,889円(同105.1%)となり、購入量、支出金額は前年同月を上回った。																																																												
	2.小売動向 8月概況	○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の8月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,271.6億円(前年比103.3%、既存店ベース102.0%)と前年を上回った。 相場の高騰傾向が続く中でも、お盆時期は好調に推移した店舗が多かった。それ以外の時期は、牛肉の不振と豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は国産、輸入ともに高値推移が続き、苦戦傾向だが、雨が少なく休日を中心にBBQ、焼肉需要は好調。国産豚の価格高騰が続き、比較的安価な輸入豚が好調に推移した。鶏肉も価格高騰が続く中でも販売は堅調となった。 ○ 日本チェーンストア協会が公表した8月販売概況によると、畜産品の売上は871.4億円(店舗調整後で前年比101.6%)となり、前年を上回った。 豚肉、鶏肉の動きは良かったものの、牛肉は鈍かった。鶏卵の動きは良かったが、ハム・ソーセージの動きは鈍かった。 ○ 一部量販店では、8月にあった輸入豚肉へのシフトが継続しているものの、学校給食の再開により国産豚肉需要が増加した。																																																												
	9月概況																																																													
	3.加工肉 仕向量	○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の8月の豚肉加工品仕向量は27.2千ﾄﾝ(前年比93.2%)と、加工品の値上げによる販売不振が続き、前年を下回った。 内訳は、国産原料5.2千ﾄﾝ(前年比97.0%)・輸入原料22.0千ﾄﾝ(同92.3%)となった。 なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドポークは8.2千ﾄﾝ(前年比92.9%)と、前年を下回った。																																																												
在庫	1.在庫	○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(9月25日公表)によると、8月末の推定期末在庫量は238.0千ﾄﾝ(前年比107.0%、前月比98.6%)となり、前年を上回った。 内訳は、輸入品 ;216.2千ﾄﾝ(前年比107.9%、前月比98.7%)と前年を上回り、国産品 ;21.9千ﾄﾝ(同98.9%、同97.8%)と前年を下回った。 また、今後の期末在庫は、9月は238.3千ﾄﾝ(同107.0%)、10月は232.7千ﾄﾝ(同104.2%)と前年を上回る見込みで推移するものと見られる。																																																												
枝肉相場	1.R7年9月 速報値	○ 9月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;9月30日時点)は、646円/kg(前年比97.0%)と前年を下回った。 9月の相場は、上旬において残暑の影響により国内出荷頭数が伸び悩む中で、学校給食の再開等から需給がひっ迫し強含みとなったものの、中旬以降は国内出荷頭数の回復に伴い需給が緩んだことで弱含みとなった。月平均では、前年・前月ともに下回った。																																																												
	2.予測 R7年10月	○ 10月の相場は、西日本が例年より気温が高く推移する予報や関東での豚熱の発生報告等により出荷頭数に不安はあるものの、農水省の出荷予測では前年を上回る頭数となっていることや、10月から食品で3,000品目以上の値上げがあり消費者の節約志向が一層高まることが想定されるため、弱含みでの推移を見込む。																																																												
		<相場予想: 東京市場、税込み> 8月実績 【上物】(前年比) 669円/kg (87.5%) 9月実績(速報値) 646円/kg (97.0%) 10月予測 560円/kg (90.5%) 11月予測 575円/kg (100.7%)																																																												